

# 放課後等デイサービスMIXED JUICE支援プログラム

作成日 令和 6 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念		代表の佐藤は、脳性麻痺を持っています。今は家族や周りの友人に恵まれ、仕事をしたり、行きたいところに出かけたりと、充実した生活を送っています。その中で感じる生きづらさや不便さ等を、当事者にしかわからない目線で見ることが出来ます。保護者やお子さんとのコミュニケーションを取り、生活での困りごとや要望などに寄り添ったサービスを行います。		
支援方針		児童が安心して通える居場所として、粗大運動や微細運動の活動を通して楽しみながら日常生活に必要な基本動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、従業者や他児童との関係性を築きながら、各児童の状況や環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。従業者は、児童や保護者と密に連携を取り、よりよいサービスの提供に努めます。	送迎実施の有無	あり
営業時間		授業終了後 13 時 00 分 から 17 時 30 分 まで 学休日 10 時 00 分 から 16 時 00 分 まで		
プログラム		支援内容		5領域との関連性
本人支援	始まりの会 帰りの会	始まりの会では日付確認やその日の予定の確認や児童の点呼を行います。帰りの会では、連絡帳の返却や送迎車のメンバー確認などを行います。		言語・コミュニケーション 人間関係・社会性
	個別活動 (プリント・作業・宿題)	学校からの宿題に取り組んだり、プリントなどで運筆や計算の練習をしたり、就労に向けた手先を使った作業を行うなど、それぞれの課題に合わせた活動に取り組めます。		認知・行動 運動・感覚
	集団活動 (粗大運動・微細運動)	体幹の安定や身体機能の向上を目指して身体を動かす運動したり、制作活動を通して手先の運動を行います。また、スタッフの説明や見本を見聞きしたり、順番を待つなど、社会性やルールの理解も促します。児童の課題に合わせ、様々な活動を行っています。		運動・感覚 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性
	お出かけ	祝日や長期休みを利用して、公園や公共施設へのお出かけすることもあります。様々な場所へ行き、物事に興味を持つきっかけづくりを行います。また、電車やバスなどの公共交通機関の利用を通して社会ルールを学んでいきます。		人間関係・社会性
	昼食・おやつ	昼食やおやつの時間では、栄養摂取の目的だけでなく、食具の適切な使用を促したり、適切な姿勢で着席するなどのマナーの理解も深めていきます。		健康・生活 運動・感覚
	排泄	おむつ着用や自立移行期の児童には、自立へと導けるよう導いたり、トイレ誘導やおむつの交換などを行います。身辺自立を促すだけでなく、健康的・衛生的に過ごせるよう支援しています。		健康・生活
	身支度	来所時や帰宅前の身支度や、おもちゃの片付けなどを通し、身の回りのことはなるべく自分でできるように促していきます。支援が必要になる場合も「ありがとう」と言えることの大切さや、自分がいま何を求めているのかを発信できるよう促していきます。		健康・生活 人間関係・社会性
家族支援	保護者の困りごとや特性理解に対する相談援助を行い、レスパイト(休息)や就労等の預かりニーズに対応するための支援を行います。	移行支援	進学・就労などの進路選択の際、本人や家族への相談援助ができる体制の整備や、移行期に差し掛かった際は準備の支援を行います。	
地域支援・地域連携	近隣の公園に出かけたり、お出かけ先での児童や保護者と交流することがあります。	職員の質の向上	現場でのOJTのほか、外部の研修を各スタッフ年に1~3回受講。内部の研修は3~4ヶ月に1回、テーマを設けて実施しています。	
主な行事等	夏祭り(8月)、運動会(10月)、ハロウィンパーティ(10月)、クリスマスパーティ(12月)			